

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、一般従業員に対し2020年4月、2022年4月、2023年4月に実施した職能給の改善・ベースアップに続き、資格手当制度を導入するなど、働きがい、やりがいの一層の向上に向けて全従業員を対象にした処遇制度の見直しに取り組めます。あわせて多様な働き方ができる制度や職場環境の整備、企業理念への共感の向上と人材育成の充実等、一人ひとりが成長し個々の能力を最大限発揮できるよう人材投資を拡充してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【令和5年4月17日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28102-05-18-aichi.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、企業理念のもと、世界中のお客様の価値創造に貢献すべく、少子高齢化に伴う労働力不足や環境負荷低減・脱炭素社会の実現等、社会課題の解決に貢献していきます。当社の企業理念や目指す方向、企業活動をSDGsのゴールや課題に整合させて、持続可能な社会の実現に向けて貢献していく考えです。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月20日

オークマ株式会社

法人名

代表取締役社長 家城 淳

役職・氏名（代表権を有する者）